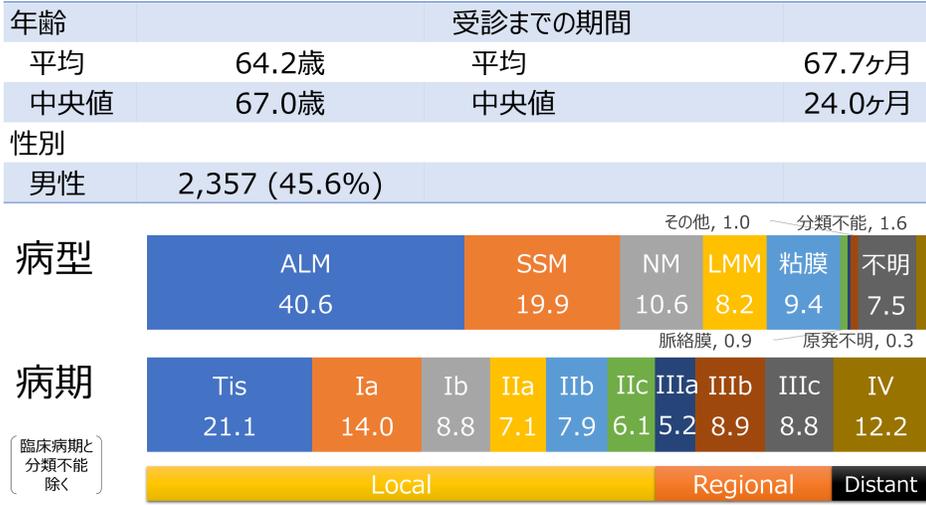


Japanese Melanoma Study: Annual Report 2021

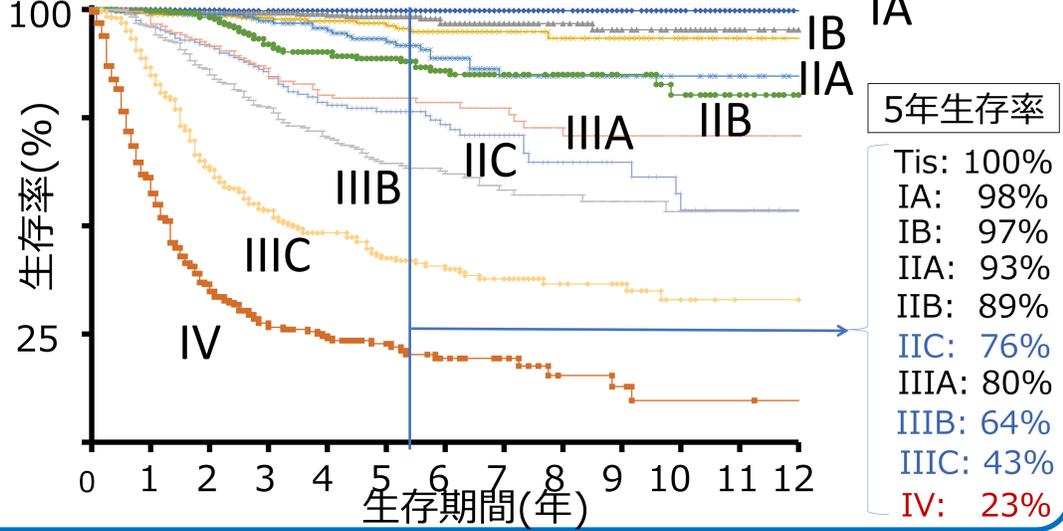
皮膚悪性腫瘍学会皮膚がん予後統計委員会担当委員：藤澤 康弘（筑波大学）

背景情報：AJCC第7版（2005-2017年の症例）

総症例数：5,173症例

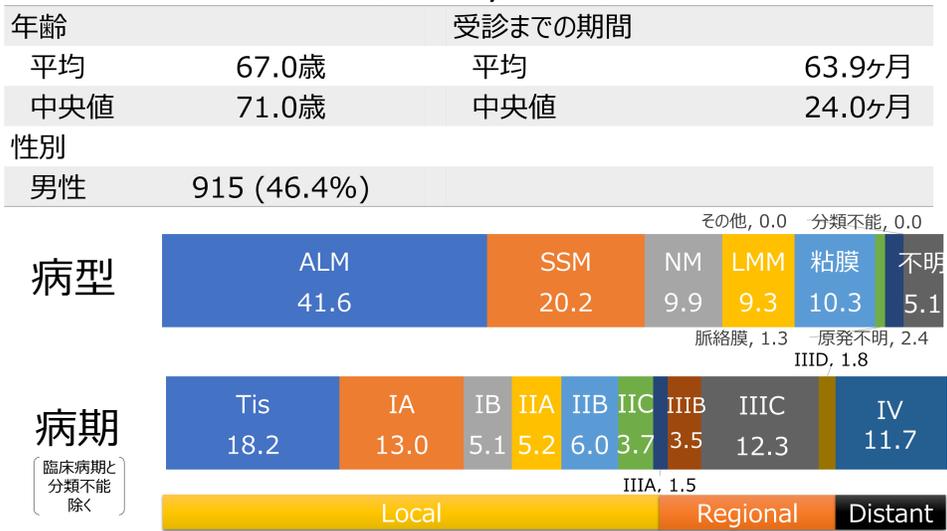


疾患特異的生存率 AJCC 第7版

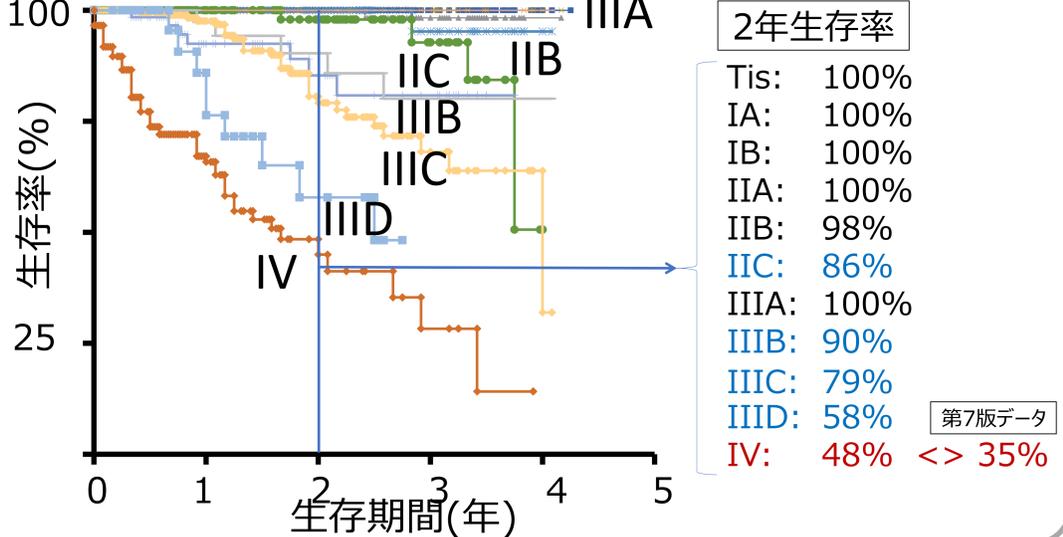


背景情報：AJCC第8版（2018-2021年の症例）

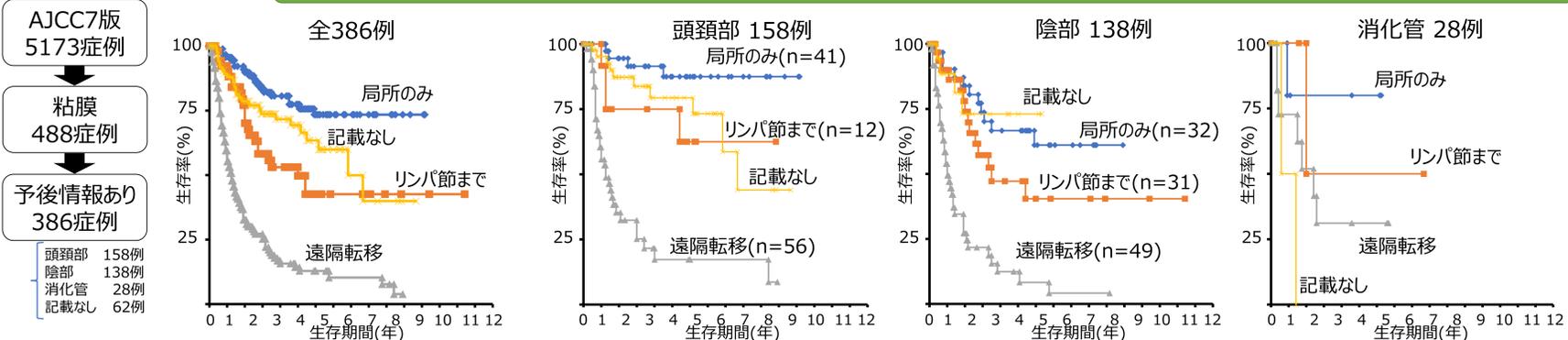
総症例数：1,969症例



疾患特異的生存率 AJCC 第8版

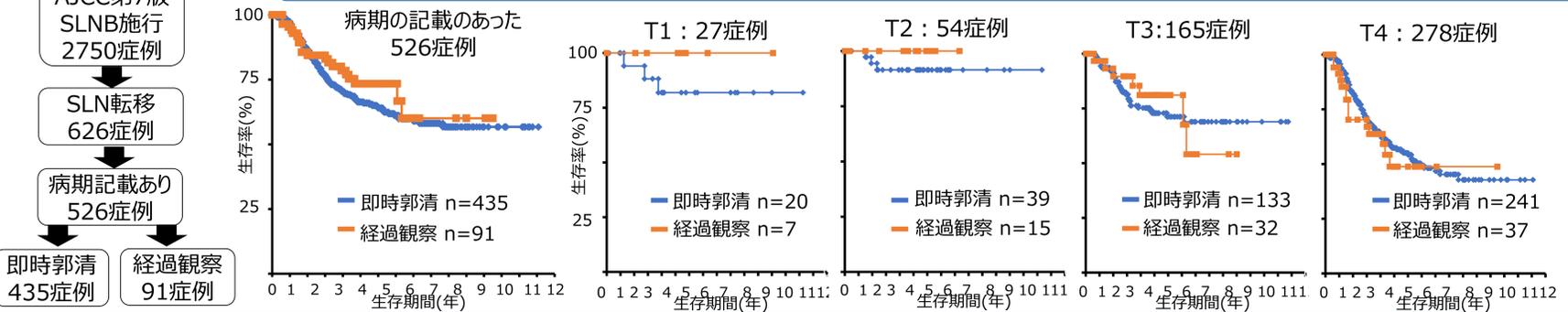


AJCC7版 粘膜386症例の部位・病期別生存曲線



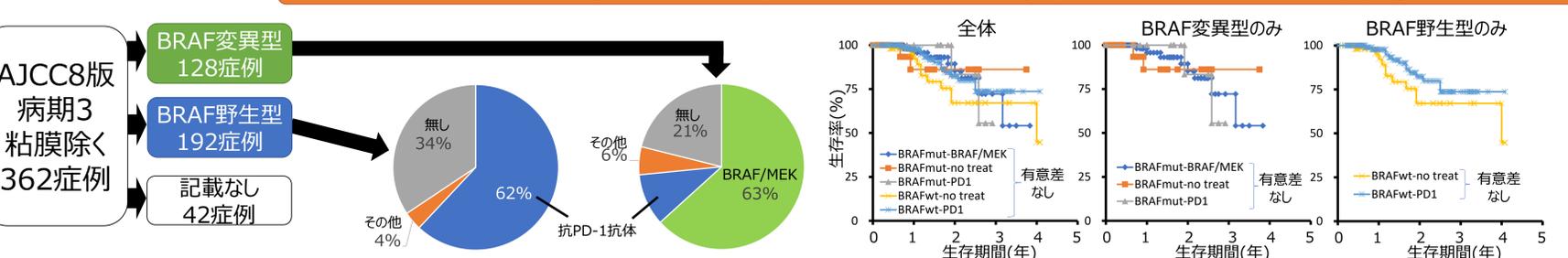
- 粘膜症例でも特に陰部原発例の予後が悪い
- 自覚～受診の期間は同等（中央値）
> 頭頸部：8ヶ月
> 陰部：4ヶ月
- 陰部の方が転移有りの割合が有意に高い
> 発症～自覚までが長い可能性

センチネルリンパ節転移陽性例の即時リンパ節郭清と予後



- 全体では経過観察群がやや予後良好
> T1/2の割合が経過観察群に多い
> SLNへの転移数は検討出来ていない
- ↓
- 両群間に大きな違いは無い可能性

AJCC8版におけるステージ3症例のアジュバント治療



- BRAF変異例ではBRAF/MEK阻害剤の使用頻度が高い
- 症例数が少なく観察期間も短いため治療効果についての評価は困難

協力施設の先生方に感謝申し上げます

鹿児島大学	藤井 一恭先生・川平 尚生 先生	新潟県立がんセンター	竹之内 辰也 先生・高塚 純子 先生	大阪市立大学	小澤 俊幸 先生
岡山大学	杉原 悟 先生・立花 宏太 先生	神戸大学	中野 英司 先生・新川 衣里子 先生	筑波大学	藤澤 康弘 先生
旭川医科大学	松谷 泰祐 先生	静岡がんセンター	吉川 周佐 先生	東京大学	宮川 卓也 先生
岐阜大学	松山 加奈子先生・岡村 直之松山 かな子 先生	国立がん研究センター中央病院	並川 健二 先生	東北大学	藤村 卓 先生
京都府立医科大学	浅井 純 先生・小森 敏史先生	埼玉医科大学医学部附属病院	柳澤 宏 先生	日本医科大学	帆足 俊彦 先生
九州大学	大野 文嵩 先生	埼玉医科大学国際医療センター	中村 泰大 先生	浜松医科大学	島内 隆寿 先生
熊本大学	福島 聡 先生・青井 淳 先生	埼玉県立がんセンター	石川 雅士 先生	富山県立中央病院	八田 尚人 先生
虎の門病院	岸 晶子 先生	札幌医科大学	宇原 久先生・加藤 潤史 先生	福岡大学	柴山 慶継 先生・筒井 啓太 先生
		産業医科大学	佐々木 奈津子 先生	北海道大学	村尾 尚規 先生
		信州大学	皆川 西 先生	名古屋大学	横田 憲二 先生・浦田 透 先生